弘報 伊方町

発行人 伊方町役場 繁満 林
印刷所 南予民報社印刷部

三十一年度 豫算編成について

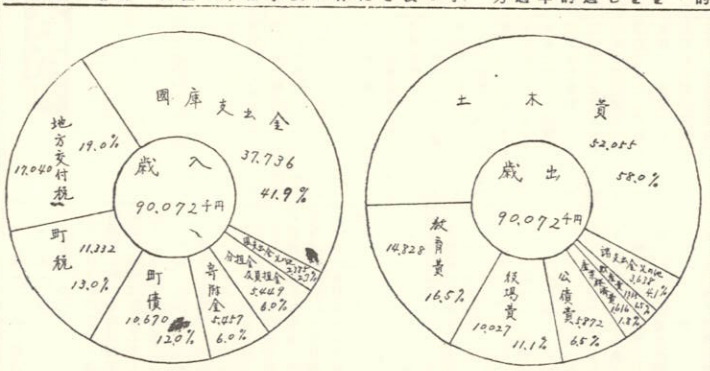
町長 林 滿繁

本年度の予算編成に当つて、我々の最も富を用いたのは、例の地財法の立法の精神を繰込むことと、これを受入れるか否かの選度決定にあつた。地財法とは二十九年度以前に於ける所謂赤字に対し法の示す基準によりこれを肩代りすること及び利子補助、災害以外の補助率の高率化など一連の地方財政救済を目的とするのだが、その反面徹底的な拘束を受けるのである。我々は愛媛県自体がこれを受けるか、どうかの動向を注視し、態度決定を留保して、そしていつでもその適用をうけ得る事務的政治的体制を取りつゝ、三十一年度の建全財政を確保し、過去の赤字解消に努力する方針を取つたのである

伊方町の三十年度末赤字は、約一千三百万円 その大部分が六三制に基く学校建築である、この赤字をどう解消するか、三十年度に約四百万円の単独債の確保が見透されているが、その殘額については、一般財政の節約に俟つ以外寄附（学校建築の一般寄附）などは望むべくもない。従つて本年予算は学校、役場など一般会計の縮少町民への各種サービスの削減となつて表現されている。

三十一年度予算それ自体については、交付税の増加その他一應心配はないのであるが、ただ学校の建築があると、この計画がくるつて来る。過去の赤字の累積もそうであるが、生徒見並にこれを裏づける國の予算の増加とか、老朽校舎の再複討しなければならない新改築は、町自体の責任であり、僅かの國庫の補助金があるだけで、町民に直接の負担もかけないで、役場が一時借入金で当面を糊塗している現状である。こんなことではとても將来の教育の向上は期待されない、建築負担に対する法の改正積もそうであるが、生徒見並にこれを裏づける國の予算の増加とか、老朽校舎の再複討しなければならない新改築は、町自体の責任であり、僅かの國庫の補助金秋に来ていると思う、同時に町民にも進んで協力する心がまえを持つて貰わねばならない、我が子の教育が眞に大切であると認識するならば——。

これを要するに、伊方町の財政は、我が國の一般経済の見況と國の財政方策の推移から考へて、自粛の体制を執らねばならない、そ頂かねばならない、切に御の爲めに、町民の皆さん方協力を願いたい。



機構改革による 人事異動なる

事務能率の向上と運営の簡素、合理化を図る目的のもとに町役場の機構を一部改革して従来の七課制を五課制に統合左のような課制とした。

総務課 旧庶務課と戸籍課を統合した
財務課 旧税務課と会計課を統合した
厚生課 旧土木課を改称
建設課 旧土木課を改称
産業課 旧産業経済課を改称した

総務課
課長 大本 亀夫
戸籍係長 兵頭 熊一
庶務主任 岩井 正
書記 佐々木雄久
〃 西田 恵明
〃 桝田 信夫
〃 松田 忠一
〃 岡崎 辰義
〃 畑中 コマ
財務課
課長兼徴収入役 城岡 武夫
税務主任 武田 庄松
会計主任 木戸 五雄
書記 二宮 一
〃 上野二三吉
〃 青木 方子
〃 阿部 文子
厚生課
課長 井上 鶴欽
書記 林 銀
〃 渡辺 一幸
〃 西村ヤツ子
保育所長 大林 雅雄
保母主任 野口 澄子
保母 高原由紀子
〃 山田千賀子
〃 佐伯ヨシ子
〃 大内カヨリ
建設課
課長 福田清右エ門
技術主任 島川 五郎
事務主任 岡崎 泰長
書記 畑本 直臨
〃 成田 希儀
〃 市尾 隆志
産業課
課長 岡村 辻太郎
書記 橋本 高俊
〃 脇田 道
〃 桝田 佳明
〃 山口 和哉
支所
支所長 古田 一郎
書記 得能 恒義
〃 井上 里盛
〃 山口 傳枝
〃 永井 愛子
〃 井田 税子
〃 岡崎忠義
〃 畑中 コマ
〃 阿部 文子
〃 藤井和子
〃 市尾 隆志
教育委員会事務局
教育長事務取扱 阿部澄夫
（休職）清水義久

本年度豫算可決 町 総額九千余萬圓 會議

町定例議会は去る三月十七日招集され本年度予算並に保育所関係条例等を審議それぞれ原案の通り可決されました

本年度予算の概要は次の通り

歳入
町税 一一三二、八〇〇円
地方交付税 一七〇四〇、〇〇〇
公企業及財産収入 三、〇〇〇
分担金及負担金 五四四九、九一五
使用料及び手数料 七五五、二〇〇
国庫支出金 三七七三、六五九
県支出金 一三九八、〇〇〇
寄附金 五四五七、六〇〇〇
雑収入 二二八、八四六
町債 一〇六七〇、〇〇〇
歳入合計 九〇〇七二、〇二〇

歳出
議費 九三〇、〇〇〇
役場費 一〇〇二七、八〇〇〇
消防費 六九八、六〇〇〇
土木費 五二〇五五、一七〇〇
保健衛生費 八四四九、七五〇〇
産業経済費 一六一六、四四〇〇
財産費 一三三五、〇〇〇〇
統計調査費 二三、七〇〇〇
公債費 五八七二、〇〇〇〇
選挙費 四六、六〇〇〇
諸支出金 一〇四二、六〇〇〇
予備費 三〇〇、〇〇〇〇
歳出合計 九〇〇七二、〇二〇〇

以上三十年度当初予算と比し一一六三六、四九八円の減となつている

今月の税金

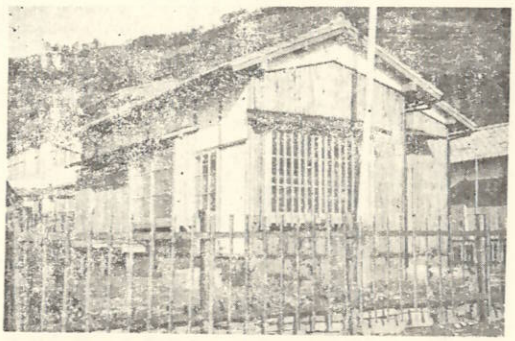
固定資産税
第一期分
税金は納期内に完納しましょう

伊方町教育委員 無投票で決る

三月二十五日に執行した伊方町教育委員会委員の選挙は候補者が定数をこえないので無投票で左の者が当選した。

伊方町川永田 福田 直吉
〃 二見本浦 松村 直市
〃 九丁 井田興之平
〃 小中浦 青木松之助

三月三十一日に新委員で構成した伊方町教育委員会の委員長に井田興之平氏 副委員長に林定治郎氏が決定した



公営住宅（第一種）完成
写真は二見公営住宅
湊浦A2戸 湊浦B1戸 豊之浦5戸
二見3戸 川永田4戸 計 15戸

三十年度末教員 人事異動状況

（伊方小学校）（轉任）
菊池今子先生 串中学校へ
辻 信子先生 東宇和郡へ
菊池菊雄先生 九町小校へ
（着任）
松村田鶴子先生 二見小より
青野藤子先生 東宇和郡より
脇水史江先生 喜須来中より
岡崎忠義先生（鳴滝）九町校より
（有寿来小学校）（轉任）
西田三郎先生 豊の浦へ
（着任）
中井健二先生 伊方中より
（豊之浦小学校）（轉任）
三浦辰子先生 九町小へ
辻 弘先生 三瓶小へ
辻川貞俊先生 伊方中へ
井上良子先生 退職
（着任）
大塚 昇先生 二木生小より
茅田勝美先生 九町小より
足利千代先生 串小校より
西田三郎先生 有寿来より
（九町小学校）（轉任）
岡崎校長 退職
松田金栄先生 町見中へ
茅田勝美先生 豊之浦へ
金山猛見先生 足成小へ
上村クニ子先生 退職
矢野頼茂先生（校長）二見小より
菊池菊雄先生 伊方小より
三浦辰子先生 豊之浦より
（二見小学校）（轉任）
吉田成子先生 町見中より
矢野校長 九町小へ
藤堂初枝先生 宮内小へ
松村田鶴子先生 伊方小へ
河野寿子先生 大洲市へ
（着任）
井樋政男先生（校長）事務所より
乘松政子先生 喜須来中より
生田東祥女先生 大佐田小より
（伊方中学校）（轉任）
菊岡政雄先生 平野小へ（校長）
中井健二先生 有寿来へ
（着任）
菊池 平先生 三机中より
辻川貞俊先生 豊之浦より
（町見中学校）（轉任）
田村嘉威先生 三机中へ
藤井幸雄先生 三机中へ
吉田成子先生 九町小へ
（着任）
松田金栄先生 九町小より

昭和三十一年度 赤十字運動 施要綱

との通動につきましては毎年皆様の絶大なる御協力を得まして目標額を達成し赤十字活動の推進に寄與出来ました事は深く感謝致します。本年も五月一日より一ケ月間が実施期間です。本町の目標額は六万七千八百参拾円でありますので、何卒貴に國民の赤十字として國の内外にわたり赤十字活動を強力に推進するためには是非皆様一人一人の理解と支援によつて赤十字の使命を達成せなければならないので、皆様のより深き御理解と御協力を御願いし本年度目標額を達成する様御頼み致します

尚此貴制度は本年四月一日より次の二種となりました

（イ）特別此貴章（現行と同じ）

A十年間継続して年額参百円以上此貴を納めたとき

B此貴として一時又は数次に三千円以上一万円未満の金額を納めたとき

C昭和三十一年三月三十一日以前に加入した百円此貴で十三年継続して此貴（合計千円）を納めたとき

但し五月三十一日迄に役場迄百円出して頼ければ本年度のみ十年すれば特別此貴となります

三月の會と催し

十四日 土木関係会計検査
十五日 大分縣入植懇談会
十六日 農業委員選挙選挙会
十七日 伊方町定例議会
昭和三十一年度予算
その他審議
二十二日 伊方地区乳児審査
二十三日 町見地区乳児審査
町議会議員補欠選挙事務打合会
二十六日 選挙事務打合会
二十八日 議会議員補欠選挙
清防関分団長会
二十九日 教育委員会人事異動について協議
三十日 町議会臨時会開催
第五回退加瓦正豫算その他審議
十日 昭和三十一年度豫算
十二日 その他審議
耕地工木会計検査
ジフテリヤ予防接種
実施
五日 伊方町農業委員会を開催
九日 伊方町教育委員会教員人事異動及び三十一年度予算審議
みぱと耕作組合総会
正副議長及常任委員長会

昭和三十一年度入学兒童數

	男	女	計
小学校 伊方	六六	七四	一四〇
水ケ浦	一九	二七	四六
有寿来	三	八	一一
豊之浦	二〇	二四	四四
九町	四三	四一	八四
二見	二七	五二	七九
計	一六	二六	四〇四
中学校 伊方	一〇四	一〇六	二一〇
九町	六六	六四	一三〇
二見	一三五	一六六	三〇一
計	二〇五	二二〇	四二五

町議会議員補欠選挙無投票当選できまる

三月二十六日に執行した町会議員の補欠選挙は無投票となり左の者が当選した。

川永田 福田 儀郎

農事普及板

伊方町農業改良普及員 伊方担当 篠川技師

一、四、五月にわたる麦の病気の薬のかけ方

最近ウドン粉病（「白斑病」）四月下旬以降は一石二斗本期の撒布量は多い程効果高く発病なくとも撒布する、はじめ下葉のこんだ風通しの悪い株間に、多くの発病しはじめるから、よく注意して、発病を早くみつけ次第石灰硫黄合剤の三〇又は二五ばいにとき、一斗に対し改良リノー〇、三匁の展着剤を加用添加して撒布し、撒布回数は発病状態により異なるが、今年は本病の発生多きを予測して、事前に撒布防除をすることが必要と存じます。撒布回数は第一回撒布後一週間おきに二回、計三回は必要とす。銹発病多き場合は回数をふやすことである。

薬の撒布量は次の標準により実施されること。

種類	本葉	苗の状態
ナス	八—十枚	苗置ないし一番開花
トマト	八—九枚	同
キュリ	五—六枚	一側芽とび伸長
カボチヤ	五—六枚	蔓折れ時
スイカ	三—四枚	

四月上中旬は反当六斗

二、麦の苗熟現象「麦の春落又は株枯」対策

本現象は土質氣象其の他徒長度等に此因され繁茂等は今日の処判別出来ずも四月上旬に落成肥「反当二十貫、未熟堆肥一〇〇乃至二〇〇貫」の施用と同時に三月末より四月上旬に土入を充分行い、上密を排水することに依り其の効果のする事が考察され易くつき該当発期に於いては是非とも部分的に発病ある地域に実施されるよい。

三、豆類の種まき

前作ムギの畝間を二尺に落を切り株間五—六寸三粒の点播又は尺間六—七粒のすじまきをするとよい

四、蔬菜園芸の部

1 温床の管理はこの理念で

（一）温床の順——温床育苗中の苗は、寒さにあうか、温水をひかえるかあるいは光線を強くあるかあるいは光線を強くあるかあるとは本煙に定植してのちの寒さに対し抵抗力が強くなる。これを順化という

5、苗まきとうえつけ

四月上旬に露地に直まきするものに、スイカ、シロウリ、マクワウリ、ゴボウ、ニンジン、インゲン豆等、ヤマイモ、ショウガ、落花生、ホウレン草白菜、シン菊、ダイコン等がある。

◎甘橘類について

1 病気の予防と害虫退治

（一）発芽前に乳剤をかけても病菌の方では、少くなるだけで又霜が病が出る心配が多いから、花が咲発、郷土再建の中堅層愛媛青年隊の目的で農村建設青年隊員

愛媛県農村建設青年隊員募集

海外雄飛、就職、郷土再建のため若い二三男は農村建設青年隊に入りましょう

いま県では二三男対策の一環として海外移民、郷土開墾として民間のようなものではありません。

狭い耕地に溢れる人口郷土

春の防犯心得

皆さん春の防犯心得について知らせ致します

◇家の出入口等には盗られる度のある物は置かないようにしましょう

◇不審者の挙動に注意して隣近所で連絡しあい不審者のうろついているのを発見した者は直に警在所へ連絡しましょう

二、スリの被害防止

◇検山博へゆく婦合人混の中で汽車、電車、バス等の乗物で一番多く被害にかゝつているから必要以上に接近してくる者カーブの動揺を利用してスルから特に注意しましょう

◇財布は必ず上衣の内ポケットに入れてボタンをかけておきましょう

◇買物籠や手提袋に財布を入れることは最も危険である、又ズボンの後ポケットも危険であるから注意しましょう

◇夜路の場所や乗物の中では現中物をむやみに取り出さない、もし必要があって取出す時は中味は他人に見せないようにしましょう

三、押買防止

◇押買には最初から取合をいうようにしましょう

◇押買が来た場合は家を留守にしないで近所隣や警在所に早く連絡をしましょう

◇厚生会○○協会等の配列書を所持しない学生のアルバイトと称していても大半はにせものであるから信用せず直に警在所へ

◇押買は留守をわかると家に金銭を置いてから在宅中でも強断をしていると玄関先のものを振持われるから人の氣配についても注意しましょう

◇所つても帰らない時や、利益所から帰って来た時の場合は直に警在所へしらせましょう

四、痴漢の防止

◇夜間一人歩きは危険である特に若い女性の一人歩きは危険であるから止むを得ず外出する時は二人以上でゆく事

◇暗いところや人通りの少ない道はさけて少々廻り道になっても明るい人通りの多いところを歩く事

◇下駄ばいの歩行も危険である

◇相手が少年だからと思つて油断しない事

五、花見時の注意

◇泥酔者は相手にしない

◇いゝがかりをつけられても相手にしない事

◇変な者にいゝがかりをつけられ暴力脅迫等をする場合は警在所へ届出ましょう

◇インチキヤシに注意しましょう

たとえばトランプによる万年筆等をあてる事等にはかゝりあわないようにしましょう

●幸の交通安全運動

戦後うたた昇りに、増える自動車に比例して道路上の死傷者も増える一方で、愛媛県での状況を見ると昨年は県内のどこかで八九二件の交通事故が発生この為九四人が死亡、九一六人が負傷し二、〇一〇万円の物的損害を出しており今年に入って、三月二十日現在二三一件の事故が発生二五人が死亡、二四八人が負傷し一、三二万円の物的損害を既に出しており このように、毎年四月の行楽期は殺米黄夏とともに、交通事故のピーク時であるから今年も四月十六日から十日間交通安全運動が行われることになっており年間のこの大きな件数や死傷者のことを考えると簡単でなおず運転をしないようしましょう

三、居眠り運転は最も危険

一、歩行者の心が浮きたつて注意力を欠ぎ急に車の前に飛び出したり信号を無視し大人が負傷し二、〇一〇万円の物的損害を出しており今年に入って、三月二十日現在二三一件の事故が発生二五人が死亡、二四八人が負傷し一、三二万円の物的損害を既に出しており このように、毎年四月の行楽期は殺米黄夏とともに、交通事故のピーク時であるから

二、花見時で飲酒する機会が多いが酔っていると自分では大丈夫と思っていても運転技術や判断力が低下していて注意が散慢になり即

人口動態

二月分

出生

死亡

人口動態

三月分

出生

死亡